

Sat. Jun 11, 2022

第3会場

教育講演

[EL1] クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める

座長:春名 純平(札幌医科大学附属病院)

演者:卯野木 健(札幌市立大学看護学部)

10:00 AM - 11:00 AM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

[EL1-01] クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める

○卯野木 健<sup>1,2</sup> (1. 札幌市立大学看護学部、2. 手稲仁会病院)

10:00 AM - 11:00 AM

教育講演

[EL2] 看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント-窒素バランスを看護に活かす-

座長:藤野 智子(聖マリアンナ医科大学病院)

演者:中村 謙介(帝京大学医学部 救急医学講座)

12:20 PM - 1:20 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

[EL2-01] 看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント-窒素バランスを看護に活かす-

○中村 謙介<sup>1,2</sup> (1. 帝京大学医学部 救急医学講座、2. 日立総合病院 救急集中治療科)

12:20 PM - 1:20 PM

教育講演

[EL3] クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション

座長:明神 哲也(東京慈恵会医科大学)

演者:宇都宮 明美(関西医科大学看護学部・看護学研究科)

1:30 PM - 2:30 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

[EL3-01] クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション

○宇都宮 明美<sup>1</sup> (1. 関西医科大学看護学部・看護学研究科)

1:30 PM - 2:30 PM

教育講演

## [EL1] クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める

座長:春名 純平(札幌医科大学附属病院)

演者:卯野木 健(札幌市立大学看護学部)

Sat. Jun 11, 2022 10:00 AM - 11:00 AM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

---

### [EL1-01] クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める

○卯野木 健<sup>1,2</sup> (1. 札幌市立大学看護学部、2. 手稲溪仁会病院)

10:00 AM - 11:00 AM

10:00 AM - 11:00 AM (Sat. Jun 11, 2022 10:00 AM - 11:00 AM 第3会場)

**[EL1-01] クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める**○卯野木 健<sup>1,2</sup> (1. 札幌市立大学看護学部、2. 手稲溪仁会病院)

Keywords: ワークエンゲージメント、看護管理

さて、「ワークエンゲージメント」なるお題をもらった私は多少、混乱している。ワークエンゲージメントとは、仕事に関連するポジティブで充実した心理状態（Wikipedia）ということらしい。なるほど、雰囲気はわかる。しかし、私は看護師長の経験はあれど、看護管理学を専門としているわけではないし、ファーストレベルも受講していない。ただ、看護師長時代は、どうやって、スタッフに楽しく働いていただけるか？を常に考えていたことは事実だ。なので学術的なことでなくとも、なにか語ることは可能であろう。仕事で考えると複雑になるかもしれない。草野球に例えてみよう。「草野球に関連するポジティブで充実した心理状態」を作り出すにはどうしたらよいのだろうか。まずは、やはり試合に出れたほうが良い。みんなに認められたい。こういうことが満たされると、ポジティブ方向に向かうだろう。今まで8番だったのが4番に抜擢されたら、緊張しつつも期待に答えようとするだろう。前日の素振りも力が入ったものになる。これ、看護で例えると、優秀な看護師として認められることだろう。周囲のスタッフから、あるいは医師から、上司から、あるいは何かの資格を取得する、も同じかと思う。また、試合に勝つほうが負けるよりもポジティブだろう。うまく急変の予兆を見つけた、患者を助けることができたり、喜んでもらえた、などもそうだが、質の指標が向上した、はチームで行う分、勝った気がするだろう。また、仲間がいることも重要だ。喜びや悔しさを共有できる仲間がいるから、次の試合に向けた練習にも前向きに取り組める。「草野球エンゲージメント」はこのように作り出すことが可能かもしれない。え？草野球はそもそも好きな人がやっているわけで、仕事としての看護は必ずしもそうじゃなかったりするから難しいんじゃないの？と思ったあなた、良い質問ですね。この答えは一緒に考えようじゃありませんか。

教育講演

## [EL2] 看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント-窒素バランスを看護に活かす-

座長:藤野 智子(聖マリアンナ医科大学病院)

演者:中村 謙介(帝京大学医学部 救急医学講座)

Sat. Jun 11, 2022 12:20 PM - 1:20 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

---

### [EL2-01] 看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント -窒素バランスを看護に活かす-

○中村 謙介<sup>1,2</sup> (1. 帝京大学医学部 救急医学講座、2. 日立総合病院 救急集中治療科)

12:20 PM - 1:20 PM

12:20 PM - 1:20 PM (Sat. Jun 11, 2022 12:20 PM - 1:20 PM 第3会場)

## [EL2-01] 看護師に知っておいてほしい栄養療法のポイント -窒素バランスを看護に活かす-

○中村 謙介<sup>1,2</sup> (1. 帝京大学医学部 救急医学講座、2. 日立総合病院 救急集中治療科)

Keywords: 栄養療法、窒素バランス、タンパク質

窒素バランスは体全体における日々の窒素のインとアウトの差を計算することで体タンパク質の変化を間接的に評価する、医学的に古来よりある評価手法である。そのインは栄養摂取でありタンパク質におよそ16%の窒素が重量として含まれること（窒素係数6.25を算出）、アウトは主に尿から排泄される（他に糞便や体液など）と考え、例として以下の様な計算式で算出をする：窒素イン {投与タンパク質(g)÷6.25 (g)} - 窒素アウト {尿中窒素排泄量 (尿中 UN濃度×尿量) ÷0.8+0.031×体重(kg)}。なお計算式には様々な算出方法が提案されており施設で一律の基準で評価することが重要である。窒素バランスは多くの limitationを含有しその測定値で一喜一憂することは危険であるとも言える。しかし一通りの limitationを知識として抑え日々の臨床における参考とすることは現在でもなお栄養療法に大きな意義として貢献する。すなわち、窒素バランスは筋肉量の日々の増減としてとらえることが可能なため、昨今重要視される PICSや ICU-AWのモニタリングに他ならないし、栄養療法の直接のアウトカムの一つと考えることができる。そして何より、窒素バランスの概念を知ること、実際に窒素バランスを計算せずとも患者の同化と異化を把握し、適切な栄養療法とそれを効率化する栄養療法以外の算段（例えば早期リハビリテーションなど）を模索することが可能となる。今こそ我々は窒素バランスの概念を勉強しなおし臨床に活かすべきなのである。本講演では窒素バランスの概念と計算、limitationをわかりやすく勉強した上で、日々の栄養療法やICUケアに窒素バランスを活かす方法に関して、急性期栄養療法×リハビリテーションの観点を中心にお話したい。なお、栄養計算と窒素バランス計算が簡便に行えるスマートフォンアプリを作成し、Android用 iPhone用ともに無料で公開しているので、是非ダウンロードして御使用いただきたい（本講演で計算を指南するので、御聴講いただける方は前もってダウンロードしておいていただけると幸いです）。

教育講演

## [EL3] クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション

座長:明神 哲也(東京慈恵会医科大学)

演者:宇都宮 明美(関西医科大学看護学部・看護学研究科)

Sat. Jun 11, 2022 1:30 PM - 2:30 PM 第3会場 (国際会議場 国際会議室)

---

### [EL3-01] クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション

○宇都宮 明美<sup>1</sup> (1. 関西医科大学看護学部・看護学研究科)

1:30 PM - 2:30 PM

1:30 PM - 2:30 PM (Sat, Jun 11, 2022 1:30 PM - 2:30 PM 第3会場)

## [EL3-01] クリティカルケア看護実践能力を磨くためのリフレクション

○宇都宮 明美<sup>1</sup> (1. 関西医科大学看護学部・看護学研究科)

Keywords: 看護実践能力、リフレクション、思考発話

看護実践能力の要素として、知識、技術、実践的思考力があるとされている（池西）。また、看護実践能力は、臨床判断能力とも表現され、タナーは臨床判断モデルとして、「気づき」「推論」「実践」のプロセスを示している。臨床判断モデルではその能力の向上について、実践のプロセスの中で省察するリフレクション・イン・アクションと、実践後の省察であるリフレクション・オン・アクションの重要性を示している。リフレクションは、経験学習モデルを基盤とした考え方で、知識の習得やスキルトレーニングのような学習方法ではなく、経験したことを振り返ることで、知識と臨床実践を結びつけて考え、判断力を養い、次の実践に結びつけていくものである。リフレクションは、自ら行うことも可能であるが、多くの新人看護師はリフレクション能力を持たないため、先輩看護師の力を得て、リフレクションを行うことが望ましい。このためには、先輩看護師がリフレクションを促進する能力を身につけなければならない。今回は、思考発話（発問）という方法によるリフレクションについて説明し、臨床での活用方法についても提言したいと思う。